

平成30年度予算見積調書(2月補正予算)

課室名: 畜産安全課
 担当名: 畜産振興担当
 内線: 4193

(単位: 千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業	
B20	肉用牛生産能力向上事業			一般会計	農林水産業費	畜産業費	畜産振興費	畜産経営改善対策費	
事業期間	平成30年度～平成32年度	根拠法令	酪農及び肉用牛生産の振興に関する法律第2条の3			宣言項目	09	儲かる農業の推進	
					分野施策	040936	農業の担い手育成と生産基盤の強化		
1 事業概要			5 事業説明						
<p>本県の肉用牛繁殖農家では経営安定のための子牛の生産効率向上が必要となっている。 このため、生産性向上に有効なICT技術を活用した機器の農家への導入を促進することで本県の一層の畜産振興を図る。</p> <p>(1) 肉用牛生産能力向上機器整備支援事業 1,112千円 (2) 先端機器導入効果検証事業 465千円</p>			<p>(1) 事業内容 ア 肉用牛生産能力向上機器整備支援事業 1,112千円(補助率1/2以内) 県内肉用牛繁殖農家への先端機器導入による生産性向上効果を確認するため機器整備を助成する。 イ 先端機器導入効果検証事業 465千円 事業効果を確認するための経営分析を実施するとともに、県内畜産農家への導入方法を検討する。</p> <p>(2) 事業計画 ア 肉用牛生産能力向上機器整備支援事業 平成30年度～平成32年度 平成30年度～先端機器の整備(年間2件) イ 先端機器導入効果検証事業 平成30年度～平成32年度 事業主体の経営分析による効果の確認と推進会議の開催</p> <p>(3) 事業効果 先端機器の整備により、肉用牛繁殖農家における肉用子牛の出荷頭数の増加に伴う収益性の向上が図られる。</p> <p>(4) 補正予算の概要 歳入が国庫支出金対象外となったことによる財源更正(一般財源813千円→1,577千円)</p>						
2 事業主体及び負担区分									
<p>(1) (県1/2) 事業主体1/2 (2) (県10/10)</p>									
3 地方財政措置の状況									
<p>普通交付税(単位費用) (区分) 農業行政費(細目) 生産流通振興費 (細節) 畜産振興費</p>									
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員									
9,500千円×1人=9,500千円									
予算額		財源内訳						一般財源	補正後の予算額
		国庫支出金							
決定額	0	△764						764	1,577
現計額	1,577	764						813	